

2019  
**7**  
No.178

パラオ共和国柔道選手団と  
第三中学校生徒の交流

## 主な内容

- P2~3 国体開催100日前イベント
- P4~5 パラオ共和国選手団事前キャンプ
- P6~7 文化財庭園フォーラム
- P8~9 第三次健康常陸大宮計画21
- P12 市内地域公共交通網が変わります



△レスリング練習風景（西部総合公園体育館）



▲柔道練習風景（東京都：講道館）



## パラオ選手の皆さんを応援しています！

# 天皇陛下御即位記念 いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

## 国体開催100日前イベント

道の駅常陸大宮～かわプラザ～で、国体開催100日前イベントが開催されました。

ステージでは、子供歌舞伎の口上（西塩子の回り舞台）、鶯子囃子（鶯子祭囃子保存会）、なぎなた演武（市なぎなた連盟）などが行われ会場を盛り上げました。

テントでは、常陸大宮高校 HIOKO ホールディングス・工業科、市食生活改善推進員連絡協議会、市なぎなた連盟、東京オリパラ推進室からパラリンピック正式競技となった「ボッチャ」体験、道の駅常陸大宮～かわプラザ～から飲食物などのブースが出店しました。

## ステージイベント



▲立派な口上を披露しました



▲軽快なお囃子でした



▲なぎなた演武

## 出店ブース



▲常陸大宮高校ブース



▲市食生活改善推進員連絡協議会ブース



▲東京オリパラ推進室「ボッチャ」体験ブース



▲道の駅常陸大宮～かわプラザ～ブース

## 炬火名が決定しました！常陸大宮風土記の火

【由来】今から1300年ほど前の奈良時代にまとめられた書物「常陸国風土記」に、常陸大宮市産のメノウの火打石が記載されています。この火打石は、江戸時代でも「水戸火打石」と親しまれ、侍から庶民まで江戸の住民のほとんどが使っていたといわれています。

炬火の火種は火打石からとったため、本市の国体の炬火の名前を「常陸大宮風土記の火」としました。この火は、9月28日に笠松運動公園陸上競技場で開催される第74回国民体育大会総合開会式で県内44市町村の火と一緒に、いきいき茨城ゆめの火となります。

## 炬火リレー

ステージイベントと並行して、大賀小学校では児童が火打石から炬火リレーの火を起し、4年生から6年生36人全員で道の駅常陸大宮～かわプラザ～まで運びました。みんなで声を掛け合いながら一生懸命走り、三次市長へリレーしました。

リレー後は、大会イメージソングを歌う磯山純さんのミニコンサートが行われました。アンコールでは、大賀小学校の1年生から3年生の国体ダンスとともに、イメージソングを歌い、会場は盛り上がりました。

## 火打石で採火した児童の感想

当日までの1週間、毎日お昼休みなどに火打石で火を起す練習をしました。本番では1回で採火でき、練習の成果を出せ嬉しかったし安心しました。石は重かったけど、経験できて良かったです。(6年：金子鎧誠さん・鈴木愛友里さん・河野和香さん・寺門由彩さん)

## 代表で市長へ炬火をリレーした児童の感想

練習は1回だけでしたが、みんなで無事に走れて良かったです。炬火は重かったです。楽しく走れて、いい経験になりました。(6年：小泉果歩さん・高林誠斗さん)



▲火打石で火を起しました



▲一生懸命走りました



▲ダンス後、磯山純さんと記念撮影

## 常陸大宮高生作！国体 PR 看板設置

県立常陸大宮高等学校機械科の生徒が製作した国体のPR看板を、国道293号線沿いの物産センター



▲設置の様子

かざぐるま（小舟）に設置しました。お立ち寄りの際はぜひご覧ください！



▲常陸大宮高校の皆さんありがとうございました！



# みんなで応援しよう！ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会



東京オリンピックまで あと865日  
(2019年7月25日現在)

東京2020大会に向けて、パラオ共和国のホストタウンであり同国選手団の事前キャンプ地となっている本市で、6月から7月にかけて、柔道及びレスリングチームの事前キャンプが実施されました。本年が、日本とパラオ外交関係樹立25周年の節目となることから外務省の認可を受け「日・パラオ外交関係樹立25周年記念事業」として行い、市内施設等での練習のほか、小・中学生との交流やそば打ち体験等を行いました。

来年の東京2020大会を目指すパラオ共和国選手団をみんなで応援しましょう！



（左から）Jarvis Blesam Tarkong選手(23)、Ismael Aguonコーチ(53) 駐日パラオ共和国大使館フランシス・マツタロウ特命全権大使、Malcolm Gaymann選手(16)

スケジュール	
6/9	本市到着
6/10	市内見学、市長表敬訪問、水戸葵陵高校柔道部と練習
6/11	茨城大学柔道部、水戸啓明高校柔道部と練習
6/12	講道館で実業団選手等と練習
6/13	オリンピック関連施設見学
6/14	第二中学生と交流、県武道館柔道教室参加
6/15	そば打ち体験など
6/16	県柔道連盟主催昇段試験見学、筑波海軍航空隊記念館見学、帰国

## 選手インタビュー

- ①事前キャンプの感想 ②練習はどうでしたか？
- ③柔道（柔道の練習）から学んだことは何ですか？

**ブレサム選手**

- ①とても良いキャンプでした。常陸大宮市に来てからの短い期間にたくさんのことを学びました。
- ②とても満足しました。もっとここでキャンプができればと願っています。
- ③柔道家としての振る舞いがどのようにあるべきか学びました。柔道は人格を高めるためには完璧な武道です。

**マルコム選手**

- ①協力して下さった皆さんが私の柔道がさらによくなるように進んで手助けをしてくださいました。その方たちに感謝するとともに、尊敬もしています。全てに感謝します。
- ②柔道の技のスキルアップと私の柔道への愛が強くなったことを感じる事ができたので、とても満足しています。
- ③柔道の練習をおしては、常に落ち着き、効率的で的確に力を抑え急がないことを学びました。スポーツとしての柔道は、柔道の深い歴史を尊敬し、敬愛しています。自分の柔道の基準を高く設定しベストを尽くしたいです。

## 第二中学生と交流

選手とコーチが第二中学校を訪れ、2年2組29人の生徒と柔道、給食をとおして交流をしました。選手たちの紹介後、日本とパラオの歴史的なつながりなどの説明がありました。その後、生徒と選手は20秒間抑え込んだ方が勝ちというルールで寝技で対戦。お互いの隙を見極めながらの熱戦が繰り広げられました。参加した生徒は「とても楽しくて、日本とパラオの交流の良い機会になりました。東京オリンピックに出してくれるかもしれないと思うとワクワクしました。」と話していました。



▲寝技で勝負



▲日・パラオ外交関係樹立25周年記念ロゴマーク



▲給食交流



（左から）Jarvis Blesam Tarkong選手(23)、三次真一郎市長、Guy Delmeau Jr.選手(37)、Cristian Nicolescu選手(25)

## 選手インタビュー

- ①事前キャンプの感想 ②練習はどうでしたか？
- ③レスリングの楽しさは何ですか？

**ガイ選手**

- ①素晴らしかったです。いろんな組み合わせの練習や学校を訪れるなど本当に楽しかったです。
- ②学生たちはとても才能があり、技術や細かい部分などを教えてもらって感謝しています。
- ③一生懸命やり結果を出すことに専念しています。レスリングをおして学んだことは、一生懸命やること、謙虚さとスポーツマンシップです。それは日常生活でも役立ちます。

**クリスチャン選手**

- ①キャンプを本当に楽しみました。皆さんとても親切で寛大でした。私たちにとても親切にしてくださった皆さんに本当に感謝しています。コーチの皆さんはとてもレベルが高くて学ぶことがたくさんありました。
- ②学生たちのレベルが高く彼らから学べるのが素晴らしかったです。自分がまだ高いレベルにいないことを感じました。また彼らと練習する日が待ち遠しいです。
- ③練習を一生懸命することと謙虚さを学びました。レスリングは絶対に諦めないこと、全てに対してベストを尽くすことを教えてくれます。また、心と体の両方が健やかで強くあることも教えてくれました。

**ブレサム選手**

- ①とても素晴らしい経験で、たくさんのことを学び新しい友達もできました。
- ②学生たちはとてもレベルが高くて親切で強かったです。
- ③一生懸命になれば、何事も成し遂げられることを学びました。

スケジュール	
6/26	本市到着
6/27	市長表敬訪問、大宮西小児童と交流、中央大学レスリング部と練習
6/28	日米親善高校レスリング大会視察
6/29	大子ジュニアレスリングクラブと練習、水戸市・ひたちなか市レスリングスポーツ少年団と交流
6/30	市内見学
7/1	中央大学レスリング部と練習
7/2	市長表敬訪問、大宮西小児童と給食交流、中央大学レスリング部と練習
7/3	美和小児童と交流、中央大学レスリング部と練習
7/4	オリンピック関連施設見学、日本大学レスリング部と練習
7/5	帰国

## 大宮西小・美和小児童と交流

西部総合公園体育館で大宮西小学校3年生62人の児童とレスリング交流をしました。児童たちは、パラオ選手の上に順番に乗ったり、鬼ごっこをしたりと笑顔でマットの上を走っていました。また、後日、児童と友達になった選手が招かれて給食交流を行い、児童たちは選手との再会に大喜びでした。美和小学校では、6年生26人の児童と調理実習をおして授業体験と給食交流を行いました。それぞれの班で炒め物を調理した後、パラオの代表的な野菜「空芯菜」と豚肉の缶詰「スパム」を炒めた料理をパラオの選手が作りました。児童たちは調理する選手の手元を食い入るように見つめていました。



▲なんて力持ち！（大宮西小）



▲みんな美味しいと言っていました！（美和小）

■問い合わせ■  
企画政策課 東京オリパラ推進室 ☎52-1111(内線310)

# プロの技!よみがえった養浩園

## ～文化財庭園技能研修会見学記～

国の名勝に指定されるなど、文化財としての価値ある日本庭園を「文化財庭園」といいます。この文化財庭園を維持管理する伝統技術を保持しているのが、文化庁認定の「文化財庭園技術者協議会」(略称「庭技協」)。庭園の地割や石組、池泉、植栽はもちろん、橋や垣根、灯籠などの修理・管理に至るまで、造園者が表現しようとした思想や世界観を理解し整備する、プロフェッショナル庭師の全国組織です。

平成14年の設立以来、技術のさらなる向上と後継者の育成を図るため、毎年文化庁と共催で、各地の庭園を会場とした研修とフォーラムを開催しています。今年度は、本市高部宿にある庭園、養浩園が会場となり、6月8日から16日までの期間で開催されました。



▲大正頃(推定)の養浩園(写真提供/岡山仁家)

### 「養浩園」とは

「養浩園」は、江戸時代には紙問屋、平成年まで清酒「花の友」を醸造していた岡山家が、水戸の偕楽園を模して明治中頃に整備した面積3,000㎡ほどの回遊式庭園です。往時は遠近の文人が集い、庭の流れで曲水の宴を催すなど風流を極めたそうです。

また、地元の人々が、子供時代に凍結した庭内の池で下駄スケートを楽しんだ思い出を持つ、開かれた庭でもありました。

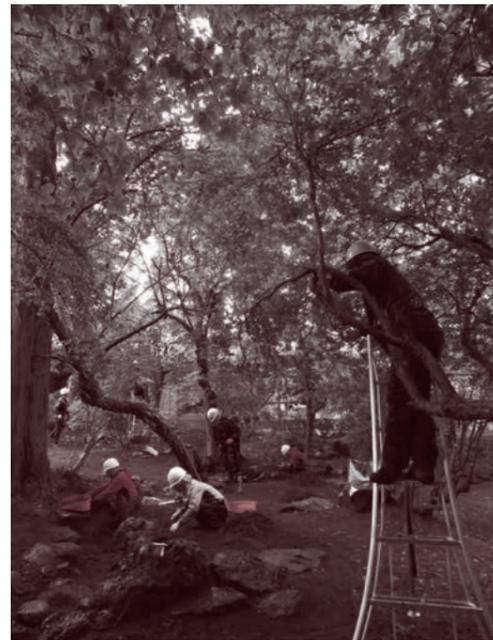
しかし、酒造業廃業後、家人のみでの広大な庭園の管理は困難で、樹木の生長・繁茂に伴う日照の不足によって樹勢は衰え、枯死も進んで庭園は荒廃。これを憂えた地元住民有志「森と地域の調和を考える会」が整備を始めたことがきっかけとなり、所有者の英断によって、今回の会場提供へとつながりました。

### 実技技能研修開始!

6月8日(土)午後、九州を除くほぼ全国から、若い女性を含む庭技協の会員ら約30人が続々と養浩園に集合し、我が国を代表する庭園研究者と文化庁調査官とともに、これから6日間整備作業を行う養浩園の状況観察と、整備方針の検討を行いました。

翌日から始まったのは、不要木の伐採と混んだ枝の大胆な剪定、藤づるやつたの除去とともに、大量の土の運び出し。庭には、当初の植栽のほかに実生の草木が繁茂していて、また、庭の東と南に流れる河川の氾濫によると思われる土砂の流入や、大量の落葉の堆積等によって、長年のうちに庭全体が厚く土に覆われてしまっていたのです。

伐採した木や枝葉、大量の土は2トントラック、軽トラ、パッカー車で次々と運び出され、その数は1日数回にも及びました。



▲作業の様子



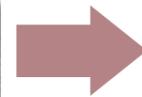
▲作業に携わった皆さんで記念撮影

作業を進めるうち見事な石組や景石が姿を現し、参加者は興奮気味。するすると高木に登っては、ほれぼれする手際で作業を進め、園地も明るくなっていきました。

6日間の技能研修に参加した庭師は延べ174人。森と地域の調和を考える会会員を中心とする地元住民協力者を加えると、200人を超える人々が作業が進むほどに発見のある養浩園の整備に、和気あいあい楽しく取り組みました。



▲作業前の庭



▲作業後の庭



▲景石の骨格を出す作業を見つめる見学者



▲活発な意見が出されたパネルディスカッション

### 見学会とシンポジウムの開催

研修最終日の15日(土)、雨にも関わらず100人もの見学者を迎えて実技見学会を開催しました。参加された皆さんは、作業の様子をひとつも漏らさず見ようと、真剣そのものでした。

翌日、市文化センターに会場を移してのシンポジウムでは、「地域との調和が育む文化財庭園」をテーマとした講演やパネルディスカッションが行われ、120人ほどの来場者が、高部に花開いた文人文化を伝える養浩園の価値と、地域ぐるみで地域文化財を磨き継承することでプライドを醸成する必要性など、これからの地域と文化財庭園の関係についての討議に、うなずきながら耳を傾けていました。

プロの技でよみがえった養浩園は、11月9日(土)と10日(日)に開催予定の市内文化財集中曝涼での公開を計画中です。紅葉も見事な養浩園にご期待ください。

### ■問い合わせ■

文化スポーツ課 文化・スポーツグループ  
☎52-1111(内線343)

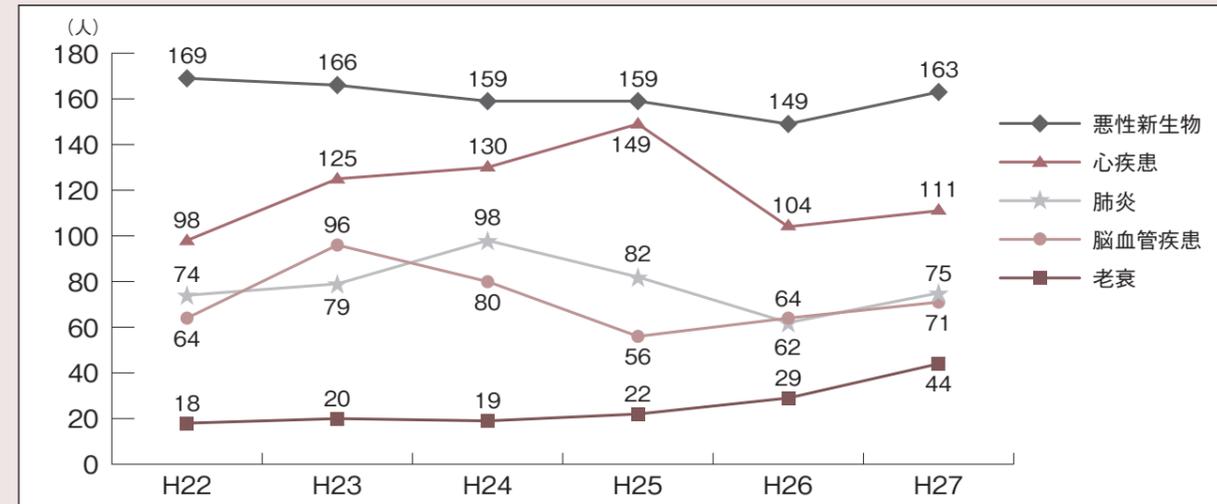
# 第三次健康常陸大宮 21計画を策定しました

市民の健康づくりを総合的かつ効果的に進めるため、食育推進計画及び自殺対策計画を含んだ第三次健康常陸大宮21計画を策定しました。計画期間は2019年度から2024年度までの6年間です。

## 常陸大宮市の概況

①本市の主な死亡原因は、予防可能な悪性新生物、心疾患、肺炎、脳血管疾患で、全体の約65.7%を占めています。

### 常陸大宮市の主な死亡原因別死者数の推移



資料：茨城県保健福祉統計

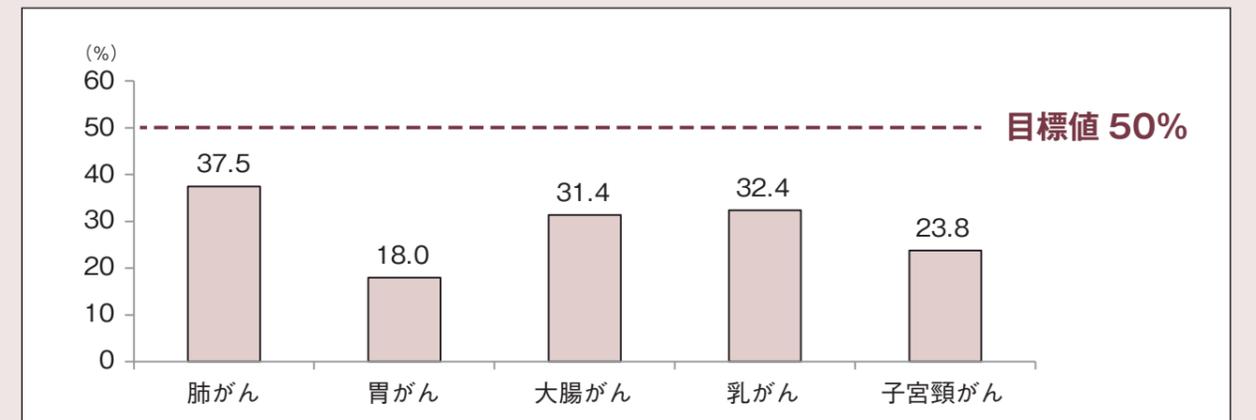
②死亡上位を占める悪性新生物・心疾患・脳血管疾患を予防、早期発見するためには健(検)診の受診が重要ですが、目標の受診率には届いていない状況です。

### 常陸大宮市の特定健康診査実施状況

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
目標	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績	51.2%	50.5%	50.5%	52.5%	54.2%

資料：特定健康診査・特定保健指導実施結果総括表

### 常陸大宮市のがん検診受診率



資料：茨城県疾病対策課 2016 (平成 28 年) 度市町村の住民健診におけるがん検診の受診率

## 市の課題と今後の主な取り組み ライフステージ

### 課題1. 生活習慣病の予防と健(検)診受診率の向上

主な取り組み ・生活習慣病予防健診・特定健診・高齢者健診・がん検診

### 課題2. 生活習慣・社会環境の改善

主な取り組み ・親子(母子)健康手帳の交付・乳幼児健診・幼児歯科健診  
 ・小児生活習慣病予防健診及び予防教室・飲酒・喫煙防止教育  
 ・健診結果に基づいた保健指導

### 課題3. 社会生活に必要な機能の維持・向上

主な取り組み ・骨粗しょう症検診・こころの健康相談・睡眠やストレスに関する正しい知識の普及  
 ・介護予防教室・シルバーリハビリ体操指導士の活動支援

### 課題4. 健康を支え、守るための社会環境の整備

主な取り組み ・健康づくり推進員活動支援・食生活改善推進員活動支援  
 ・がん予防推進員の養成

## (妊娠・乳幼児期から高齢期まで) を通じた健康づくり

### 課題5. 食育推進に向けた取り組み(食育推進計画)

主な取り組み ・親子クッキング ・生活習慣病予防教室  
 ・親子(母子)健康手帳交付時の栄養指導  
 ・健診結果に基づいた保健指導

### 課題6. 自殺対策に向けた取り組み(自殺対策計画)

主な取り組み ・産婦健康診査 ・産後ケア事業・こころの健康相談  
 ・ゲートキーパーの養成・自殺対策に関する普及啓発  
 ・子育て世代包括支援センターの周知

新たに加えた自殺対策については、国・県に比べ自殺死亡率は低い状況ですが2012年から2017年の6年間で男性27人、女性11人が死亡しています。このため「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指し、市民への啓発として、児童生徒の保護者を対象に講演会や研修を行い、公共施設での自殺防止にむけた本の展示や資料配布を行います。

更に、人材育成としてゲートキーパー(自殺の危険を示すサインに気づいて話を聞いたり、必要な支援につなげる人)の養成にも取り組みます。

**市民の皆さんとともに課題に取り組みながら、健康寿命の延伸を図ります**

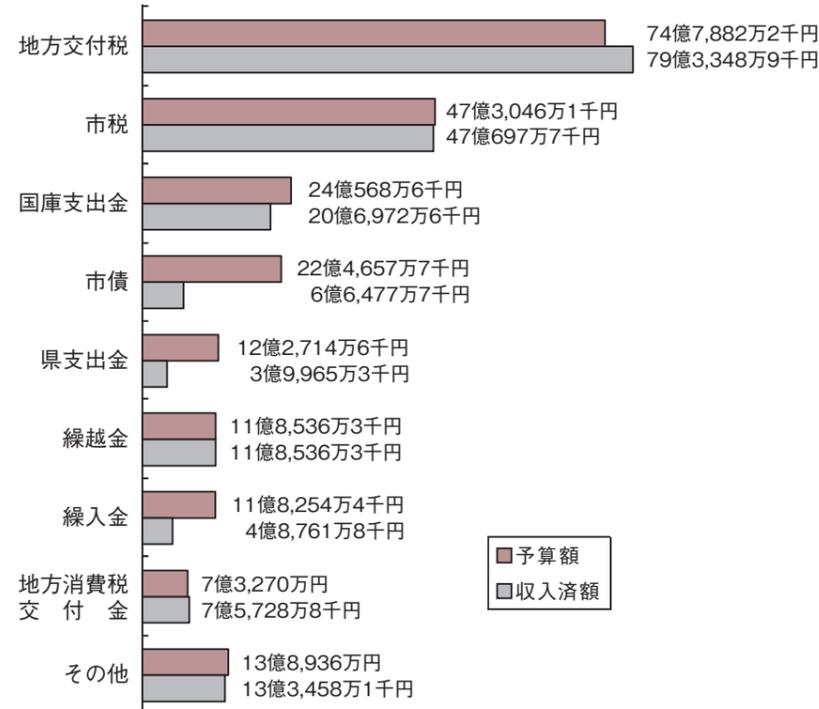
# 平成30年度下半期の 財政状況をお知らせします。

## 概要

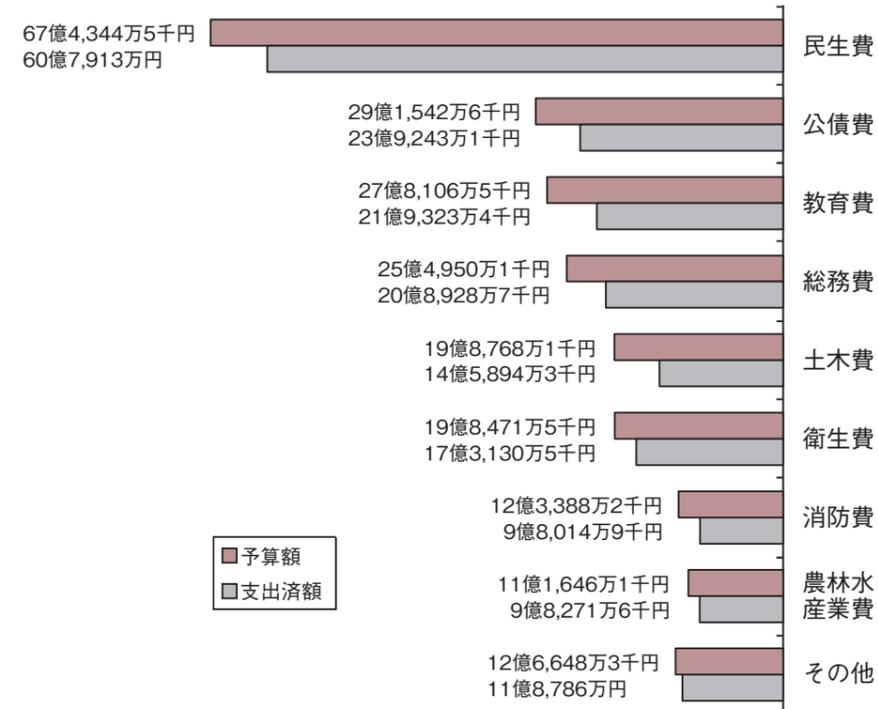
平成30年度の当初予算は、一般会計が219億1,000万円、特別会計が119億9,630万円、企業会計（上水道事業）の収益的収支の収入で13億4,535万2千円、支出で12億7,400万円、資本的収支の収入で3億6,824万6千円、支出で7億9,900万円でした。それに、前年度からの繰り越し及び5回の補正により予算額は、平成31年3月31日現在で、それぞれ一般会計が225億7,865万9千円、特別会計が123億9,262万6千円、企業会計の収益的収入で13億4,535万2千円、支出で12億8,596万7千円、資本的収入で4億1,404万6千円、支出で9億3,755万2千円となっています。

**歳入 予算額 225億7,865万9千円**  
**収入済額 195億3,947万2千円（収入率86.5%）**

（※収入済額及び支出済額は、平成31年3月31日現在のもので、平成29年度からの繰越分を含み、平成31年4月1日から令和元年5月31日までの出納整理期間の収入額及び支出額を含めていないため、決算額とは異なります。）



**歳出 予算額 225億7,865万9千円**  
**支出済額 190億9,505万5千円（執行率84.6%）**



■問い合わせ■  
財政課 財政グループ  
☎52-1111（内線375）

## 主な財産の現在高



## 特別会計の収支状況

区分	予算額	収入済額	支出済額	
国民健康保険特別会計	事業勘定	50億5,323万5千円	46億798万4千円	45億9,207万2千円
	診療施設勘定	1億8,468万円	1億4,521万7千円	1億6,289万1千円
公共下水道事業特別会計	8億7,558万2千円	8億6,408万7千円	7億9,488万8千円	
公営墓地特別会計	2,470万円	8,794万4千円	1,365万円	
農業集落排水事業特別会計	5億4,219万9千円	5億3,762万3千円	5億588万2千円	
介護保険特別会計	50億6,825万2千円	48億3,828万1千円	44億2,550万1千円	
宅地造成事業特別会計	810万円	457万1千円	449万2千円	
戸別浄化槽整備事業特別会計	5,242万8千円	5,109万3千円	4,113万3千円	
温泉事業特別会計	8,074万5千円	8,063万円	6,039万4千円	
後期高齢者医療特別会計	5億210万5千円	5億35万3千円	4億5,717万3千円	
那珂地方公平委員会特別会計	60万円	85万9千円	9万2千円	

## 上水道事業会計の状況 （地方公営企業法第40条の2第1項の規定に基づく公表）

### 業務状況

給水人口	39,655人
給水件数	17,595件
有収水量	4,400,908㎡/年
一日最大配水量	24,168㎡
一日平均配水量	19,376㎡
有収率	62.23%

### 予算の収支状況

区分	予算額	収支額	収支率
収益	収入	13億4,535万2千円	13億7,874万円 102.5%
	支出	12億8,596万7千円	12億4,670万円 96.9%
資本	収入	4億1,404万6千円	3億8,385万4千円 92.7%
	支出	9億3,755万2千円	8億2,438万円 87.9%

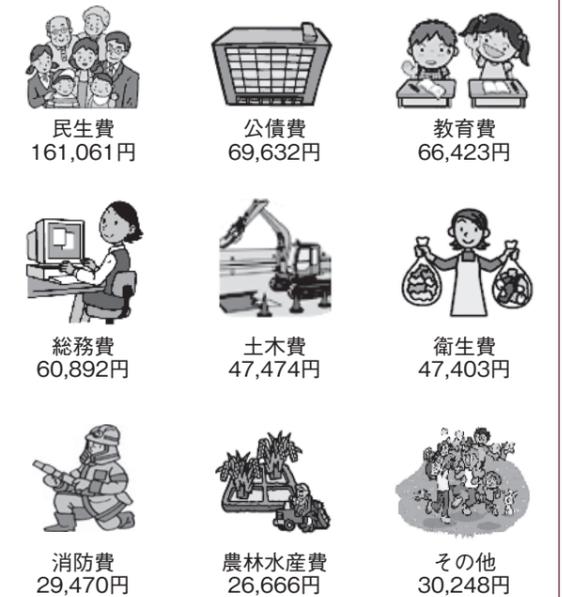
資本的収入額が資本的支出額に不足する額4億4,052万6千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,509万2千円及び過年度分損益勘定留保資金4億1,543万4千円で補填しました。

## 市債の状況

会計区分	現在高	実負担割合
一般会計	(50億4,770万円) 245億6,414万円	20.5%
国保診療施設勘定	(2,688万円) 8,959万円	30.0%
公共下水道事業	(19億4,925万円) 33億2,220万円	58.7%
公営墓地	(2億787万円) 2億787万円	100.0%
農業集落排水事業	(13億9,306万円) 27億1,621万円	51.3%
戸別浄化槽整備事業	(6,049万円) 1億1,217万円	53.9%
温泉事業	(7,916万円) 2億6,386万円	30.0%
上水道事業	(28億5,054万円) 35億9,339万円	79.3%
合計	(116億1,495万円) 348億6,943万円	33.3%

※現在高の上段（ ）内の金額は、市債のうち合併特例事業債や過疎対策事業債など、毎年度の元利償還額の一部を地方交付税で補填される市債があり、それらの市債の残高から補填される金額を除いて実際に市が負担する見込み額です。

## ○一般会計予算における一人当たりの額 539,269円



## ○市税総額における一人当たりの額 112,982円

\*上記の金額は、平成31年3月31日現在の住民基本台帳人口41,869人で算出しています。

# 10月から市内地域公共交通網がかわります



乗合  
タクシー編

市では、10月に市内地域公共交通の再編を予定しています。今月号では、乗合タクシーについてご紹介します。

## 1 乗合タクシーとは

**特徴：**・複数の利用者との乗り合わせによる事前予約制の送迎サービスです。

- ・運行区域は市内全域で、時刻表をもとに、ご自宅や指定場所から目的地（戸口から戸口）まで、買物や通院など市内での外出手段に利用できます。
- ・自宅や目的地がバス路線沿線から遠い方に便利です。

**運賃：**1回300円です。（<sup>しょうがい</sup>障害者や要介護者などは150円）

利用券は、社会福祉協議会（本所・各支所）と乗合タクシーの車内で購入できます。（150円券が10枚で1,500円です。）

**利用者：**市内に住所がある方。ただし事前に利用登録が必要です。（登録料はかかりません）

**運行日：**平日運行（年末年始を除く）

※一般タクシーと違い、他の方との乗合になりますので、利用する際は時間に余裕を持ってご利用ください。

## 2 10月からの主な変更点

・10月から運行便数が、**全地域1日7便になります。**

（運行時刻：8時・9時・10時・11時・13時・14時・15時）※山方・美和・緒川・御前山地域で下線の時刻が増えます。

・乗合タクシーの**運行台数を15台に増車します。**（うち3台はワゴン車）

・**75歳以上限定で利用券の割引が始まります。150円券10枚つづりを1,000円で販売します。**

※現在お持ちの利用券も引き続きご利用できます。

※75歳以上の利用者には「75歳からの常陸大宮市乗合タクシー登録カード」を7月末頃に送付しますので、利用券購入の際はご提示ください。

## 3 利用登録方法について

・「乗合タクシー利用登録票」に必要事項をご記入いただき、下記の方法でご提出ください。利用登録票は、社会福祉協議会・市役所窓口<sup>に</sup>備え付けてあるほか、お求めにより郵送でご自宅にお送りします。

### 提出方法

①常陸大宮市社会福祉協議会（本所・各支所）窓口で登録申請

②利用登録票をFAX（FAX番号：53-1275）

③利用登録票を郵送

〒319-2254 常陸大宮市北町388-2

総合保健福祉センターかがやき内 常陸大宮市社会福祉協議会 宛

■問い合わせ■ 市社会福祉協議会 ☎53-1125

## 5/28 美和小学校児童が田植え体験

美和小学校では、働くことの大切さを実感し、地元への愛着を深めることを目的として、さまざまな体験活動が行われています。

その一環として、5、6年生児童42人が、田植えを体験しました。ぬかるむ田んぼの泥に足をとられながら、丁寧に手で苗を植えました。

秋には稲刈りを予定しています。



▲稲の成長が楽しみです

## 6/18 学校かもめーる贈呈式

市内にある11の郵便局と企業・団体の連携により、市内全小中学校に「学校かもめーる」はがき7,100枚が寄贈されました。

贈呈式では、齋藤茂美和郵便局長、清水康祐檜沢郵便局長から三次真一郎市長に目録が手渡されました。はがきは学校をとおして児童生徒に配られました。



▲贈呈式の様子

## 7月 新常陸大宮大使に山下茂さんが就任

市では、市の魅力や情報を広く発信し、産業や文化、観光等の振興を図るため、多方面で活躍している方に「常陸大宮大使」を委嘱しています。今回、新たにピジョン株式会社代表取締役会長の山下茂さんに大使をお願いしました。ピジョン(株)は昭和62年から鷺子地内で赤ちゃん誕生記念の育樹をされており、市内外から毎年多くの親子が参加しています。



▲山下茂さん

## 7/1 市人権擁護委員の紹介

人権擁護委員は、法務大臣の委嘱を受け皆さんの人権を守るための活動を日々行い、市や法務局でさまざまな人権相談に応じています。市人権擁護委員に新たに坏民生さん(上檜沢)が法務大臣から委嘱されました。

### 市人権擁護委員

委員(敬称略)	
鈴木 泰全	高村 重彦
平島 則子	小田倉 美由紀
本橋 利栄子	金子 正平
諸澤 好一郎	坏 民生(新任)
山崎 江里子	



### 本間幸夫さんの作品を身近に

漆芸家で常陸大宮大使の本間幸夫さんから、作品集『— UTSUROI —本間幸夫の漆の仕事』を寄贈いただきました。図書情報館及び各公民館の図書室に配置しましたので、ぜひご覧ください。

5/29

### 関東道の駅連絡会

市文化センター小ホールで、関東甲信地方にある道の駅関係者約150人が集まり、通常総会が開催されました。連絡会は道の駅相互の連絡を図り、駅の利便性の向上等を目的に組織されています。

通常総会のあと、「道の駅と地域活性化」をテーマに研修会が開催され、道の駅常陸大宮～かわプラザ～を核とした周辺地域での活動が紹介されました。その後、かわプラザに場所を移し、現地見学と交流会が行われました。



▲研修会の様子

6/8

### 雪村顕彰会総会

市文化センターで雪村顕彰会第2回総会が開催され、記念講演として、常陸大宮市史編さん古代・中世史部会の橋本慎司さん（栃木県立美術館）による「関東水墨画と雪村」と題した講演が行われました。講演では、現存する作品を紹介しながら、水墨画の流派が京都から関東へ伝わる過程と、その中で描かれた雪村作品の特徴について語られました。来場者の多くは、雪村の作品が持つ多様な魅力にひきつけられていました。



▲記念講演の様子

6/8

### 身近な水環境を観察

岩崎地区付近の久慈川河川敷で、市内の小学生を中心に16人が参加して水質・水生生物調査（主催：市環境市民会議）が行われました。全国水生生物調査は、川に住む生き物を採集し、その種類を調べることで水質（水のごよれの程度）を評価し、環境問題への関心を高めるため全国的に実施されています。

久慈川には、カゲロウやトビケラ、ヒラタドロムシなどが生息していることから、透明度が高くきれいな川であることがわかりました。



▲いろいろな水生生物を見つけたね

6/15

### ひたまる先生会ワークショップ

おおみやコミュニティセンターでひたまる先生会ワークショップが開催されました。今年度のひたまる先生会では「健康」をテーマに掲げ、食・スポーツ・心の講座を実施します。第1回は、食の「そば打ち体験講座」で、長嶋光行さんを講師に迎え、24人の参加者が受講しました。パラオ共和国の柔道選手とコーチも参加され、市民と一緒にそば粉のこね方からゆで方のコツなどを教えていただきました。参加者同士の交流もあり、温かいイベントとなりました。



▲おいしく作れたかな？

5/30

### 洪水時避難訓練を実施しました

市として初めての洪水時避難訓練を実施しました。住民や関係機関等約180人が訓練に参加し、予想以上の成果を得ることができました。この訓練は、久慈川の堤防（霞堤）が未整備な世喜地区を対象に洪水時の避難訓練を実施して、自助・共助を基本とした住民の避難要領の確立と防災意識の高揚を図ることを目的としました。

訓練は、集中豪雨に伴う災害発生のおそれが高まったという想定で、午前6時に職員の招集から訓練を開始して、8時に災害対策本部会議、9時30分に避難勧告を発令しました。



▲避難者の輸送

住民の避難は、約120人の住民が訓練に参加し、避難場所に指定した大宮東部地区コミュニティセンターに避難をしました。避難した住民は、避難者受付、市職員による健康相談、災害対応資機材・パネルの展示、防災用DVD視聴等を体験しました。この訓練では、陸上自衛隊が避難者の輸送支援や大宮警察署が避難地域の防犯パトロールを訓練として実施し、関係機関との連携を確認することができました。また、要配慮者施設への通報連絡訓練を実施して、災害時の連絡要領を確認しました。



▲避難所に避難する住民

6/17-19

### 小瀬高校生が花器制作

県立小瀬高校で、常陸大宮大使の陶芸家菊地弘さんを講師に招き、全校生徒が参加し花器を制作しました。菊地さんは「ものを作る作業は、頭と手を使い何もなかったところから自分で作る。それは創造するということが社会に出ると大事なことです。創造し達成感を得て自信につなげて欲しい」と話していました。

参加した生徒からは「難しかったけど貴重な経験でした」と声が聞かれました。完成した花器は、10月に行われる開校120周年記念式典で、花や枝物を生け展示されます。



▲オリジナルの花器制作に取り組む生徒

6/22

### 観光ガイドの会

常陸大宮市の良さをひとりでも多くの皆さんに知っていただきたい、市に誇りと愛着を持って、市の魅力を伝えたいという目的で観光ガイドの会を立ち上げ、国体100日前イベントから活動を開始しました。今後は、毎月第2水曜日に講習会等を行い、道の駅常陸大宮を拠点として活動を行います。また、イベント等の要請にも随時対応します。8月末日まで会員募集をします。興味のある方はお問い合わせください。

問合せ：道の駅常陸大宮 ☎58-5038（担当：鈴木）



▲常陸大宮市の魅力をPRしました

6/16

## 行政相談会

市の行政相談委員がショッピングセンターピサロで、行政相談所を開設しました。チラシを配り、行政相談活動をPRしたり、市民の困りごとに耳を傾けたりと熱心に活動していました。

行政相談とは、日々の生活の中での困りごとを、行政相談委員が身近な相談相手としてお聞きするものです。

今回の相談所は、9月19日午後1時から美和総合福祉センターで開設されます。困りごとや相談したいことがある方は、お気軽にお訪ねください。



▲行政相談員の皆さん

6/23

## ミニバスケットボール交流

本市の都市交流事業の一環として、市内のミニバスケットボール少年団と東京都日野市の選抜チームが、交流試合を行い、男女ともに熱戦を繰り広げました。レクレーションでは、両市混合チームによる試合や、フリースロー大会を行い、親睦を深めました。昼食の交流会では、本市認証特産品のゆずサイダーなどを紹介し、大変好評でした。

今後も日野市とさまざまな分野・競技などで相互交流を図っていきます。



▲楽しかったね

7/7

## クリーン作戦

市内の道路・河川の一斉クリーン作戦を実施しました。ごみのない清潔で住みよいまちづくりを目指して、各地区の環境保全推進委員長（副区長）を中心に、地域住民や市内中学校、常陸大宮ライオンズクラブ、市建設業協会、市内郵便局、筑波銀行など約9,000人が国道・県道・市道及び河川でゴミ拾いをしました。

可燃ごみ3,130kg、不燃ごみ1,330kg、その他粗大ごみが回収されました。



▲中学生もたくさん参加しました

## 常陸大宮市を味わう

道の駅常陸大宮～かわプラザ～の農産物直売所内に、特産品や市産の野菜などを使い、プロの料理人が作る旬の素材にこだわったお惣菜やお弁当を置いた「常陸大宮・駅ミセのれん街」が誕生しました。

奥久慈しゃもおこわやシャリおにぎりなど新しく開発されたメニューもあるそうです。季節のものを味わえる、かわプラザの新しい名物になりそうですね。



▲どれも美味しそうですね

6/23

## 文書館カレッジ

第10回文書館カレッジ〈シリーズ常陸大宮と佐竹氏その9〉「佐竹義舜の依上保・那須出兵と常陸大宮」を、水戸市立博物館学芸員の藤井達也さんを講師に迎えて開催しました。佐竹義舜が17代当主であった15世紀末から16世紀初頭にかけて、佐竹氏は古河公方や上那須・下那須氏の争いなど、周辺諸勢力の関係に影響される形で、依上保（大子町域）・那須へ出兵し軍事行動を展開しました。宇都宮氏の侵攻で戦場となった大子町域の城郭や、戦闘に参加した常陸大宮市域の武士の動向を交えながら、当時の史料をもとにお話いただきました。

第11回は12月を予定しています。



▲熱心な講義をいただきました

6/30

## 外国料理で異文化交流 in おがわ

緒川総合センターで外国料理で異文化交流 in おがわが開催され、市国際交流会員のほか、多く的一般の方や海外出身者が参加しました。

海外出身者が講師を務め、フィリピン料理のギニサンサヨーテ（ズッキーニのスープ）やパンシットビーフン（ビーフンのエビ炒め）、中国料理の小籠包、イギリス料理のコテージパイ（ひき肉のチーズパイ）などの料理を作り、楽しく会食をしました。また、カナダ出身のアンドレアさんによるカナダの紹介や、アメリカ出身のマイケルさんによる、日本舞踊武田節の演舞が行われるなど異文化交流が行われました。



▲美味しかったかな

6/6 -19

## 市議会定例会が開催されました

令和元年第2回常陸大宮市議会定例会が開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ可決、承認及び同意されました。

### 条例

- 消費税及び地方消費税の税率改定に伴う関係条例の整備に関する条例
- 常陸大宮市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市介護保険条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市火災予防条例の一部を改正する条例

### 令和元年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算
- 常陸大宮市介護保険特別会計補正予算

### 専決処分

- 常陸大宮市税条例等の一部を改正する条例
- 常陸大宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

### その他

- 工事請負変更契約の締結について（辰ノ口橋橋梁耐震補強工事）
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について  
阿久津 智子さん
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて  
岸 明子さん、皆川 一見さん

# 高齢者クラブ連合会スポーツ大会

6月12日、緒川運動公園で、市高齢者クラブ連合会スポーツ大会が開催されました。日頃の練習の成果を発揮しようと市内各地区を勝ち抜いたチーム・個人による激戦が繰り広げられました。

各種目の優勝チームとグラウンドゴルフ上位6人は、10月開催予定のいばらきねんりんスポーツ大会に市の代表として出場します。

## クロッケーの部

- 優勝 諸沢三区長寿会（山方）
- 準優勝 野田高齢者クラブ（御前山）
- 第3位 天寿会（美和）



▲諸沢三区長寿会

## ペタンクの部

- 優勝 高砂会（美和）
- 準優勝 那賀白百合会（緒川）
- 第3位 山方長寿会（山方）



▲高砂会

## 輪投げの部

- 優勝 塩田わくわく会（大宮）
- 準優勝 下小瀬ことぶき会（緒川）
- 第3位 大岩高岩会（緒川）



▲塩田わくわく会

## グラウンドゴルフの部

- 優勝 木村 忠徳（山方）（敬称略）
- 準優勝 関 英之介（山方）
- 第3位 相田 初江（美和）
- 第4位 神長とも子（山方）
- 第5位 角田 一枝（緒川）
- 第6位 蒲谷 和彦（美和）



▲（左から）関さん、木村さん、相田さん

# 大宮小学校がスナッグゴルフ全国大会で準優勝!

6月16日、スナッグゴルフ対抗戦茨城県 B 予選会（主催：日本ゴルフツアー機構）が静ヒルズカントリークラブで開催されました。この予選会は、参加希望があった市内小学校からそれぞれ選抜・構成されたチームで、上位3人の合計スコアで競いました。優勝した大宮小学校、2位山方小学校、3位大宮北小学校が、7月14日に福島県のグランディ那須白河ゴルフクラブで開催された第17回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国

大会へ出場しました。

この全国大会へは、大宮小学校が4年連続出場、山方小学校は2年振り、大宮北小学校は初出場でした。大会では全国から集まった代表33小学校が熱戦を繰り広げるなか、大宮小学校が見事準優勝を果たし、9月21日に韓国で開催される李熙健韓日交流財団杯韓日スナッグゴルフ交流戦に出場することが決定しました。

(敬称略)

## 第17回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会成績 536ヤード/パー36

大宮小学校 (第2位 :79ストローク)

山方小学校 (第22位 :99ストローク)

大宮北小学校 (第31位 :115ストローク)

佐久間兄弟 **ベストグロス賞!**

佐久間 たかひろ 貴大 (6年 : 青コース23)

佐久間 たいが 大魁 (4年 : 黄コース27)

## <茨城県 B 予選会成績 444ヤード/パー 33>

### 【団体の部】

優勝	大宮小学校	74ストローク
2位	山方小学校	86ストローク
3位	大宮北小学校	89ストローク
4位	大宮西小学校	92ストローク
5位	山方南小学校	94ストローク
6位	上野小学校	98ストローク
7位	大賀小学校	108ストローク
8位	美和小学校	109ストローク

9位	緒川小学校	110ストローク
10位	村田小学校	143ストローク

### 【個人の部】

ベストグロス賞 22ストローク

佐久間貴大 (大宮小学校)

ホールインワン賞

橋本 さら 沙空 (大宮西小学校)

## 予選会出場者インタビュー



大宮小学校 6年  
佐久間 貴大

ぼくは、2年生からスナッグゴルフをやっています。県予選会では5回出場して5回優勝する事ができました。毎年優勝できてうれしかったです。また、チームのみんなもアンダーでまわることができました。このこともうれしかったです。これも保護者の方々やコーチ、ゴルフ場を貸してくださった方々のおかげだと思います。感謝しています。



大宮北小学校 6年  
岩川 たかひろ 由優

クラブとボールを持ったら、急にきん張してきました。本番では、胸がドキドキしました。1ホールでは、思いきり打ったら、「カキーン」といういい音が出ました。相手の選手も、ぼくと同じようにがんばっていました。最後の9ホールでは、短いショットが決まらなかったけれど、見事3位に入賞することができました。



山方小学校 5年  
木村 しずか 千空

今回キャプテンとして初めて予選会に出場しました。最初はとても緊張しました。でも、みんなと一緒にたくさん練習してきたので、全国大会へ行けると信じていました。1番ホールでみんなが見ている中ミスなく打て、その後は調子がよく良いスコアで回れました。予選会2位で全国大会出場を決め、とても楽しい大会になりました。



大宮西小学校 5年  
熊谷 りんたろう 凜太郎

ぼくは、大宮西小チームのキャプテンとして参加しました。自分が打つときは、きんちょうしました。中ごろになるときんちょうしないできましたが、最後近くにローラーで何回もミスをしてしまいました。スコアは27で、西小は7位ぐらいかと心配していました。けれども結果は4位でした。来年こそは全国大会へ出場したいです。

## スポーツ大会結果

(敬称略)

大会名：第29回春季ソフトボール大会  
開催日：令和元年5月26日(日) 6月2日(日)  
主催：市ソフトボール連盟(神永哲男会長)  
会場：西部総合公園多目的グラウンド 他3会場  
参加数：27チーム

優勝 盛和  
準優勝 南町ソフト  
第3位 レッドローズ・抽ヶ台アウトサイダーズ

最優秀選手賞 菊池 平(盛和)  
優秀投手賞 渡辺 洋(盛和)  
敢闘賞 高梨 雅由(南町ソフト)

大会名：第19回常陸大宮市民バドミントンフェスタ  
開催日：令和元年6月9日(日)  
主催：市バドミントン連盟(助川光一会長)  
会場：西部総合公園体育館

### 【男子ダブルスAクラス】

優勝 榎本 裕治 榎本 望未  
第2位 朝倉 達也 山崎 裕一  
第3位 加藤木 貴之 坂巻 太一

### 【男子ダブルスBクラス】

優勝 小森 健太 小松 直人  
第2位 小瀬 竣也 若泉 夏己  
第3位 片岡 正徳 谷田部 好祝

### 【男子ダブルスCクラス】

優勝 大森 優太 三村 千春  
第2位 芳賀 孝久 佐藤 浩一  
第3位 石井 貞章 長沼 誠二

### 【女子ダブルスクラス】

優勝 小川 益子 川並 愛美  
第2位 榎本 明子 榎本 優衣  
第3位 松本 葵 菊地 菜々子

### 【ミックスダブルスクラス】

優勝 小川原 英樹 高倉 加奈  
第2位 今泉 拓也 森 由香  
第3位 北見 佳久 佐々木 弘美

### 【初心者ダブルスクラス】

優勝 鈴木 和真 柴田 実紗子  
第2位 石井 杏果 佐々木 桂子  
第3位 蛭田 滉弘 門脇 湧也

### 大会名：第24回ミックスバレーボール大会

開催日：令和元年6月16日(日)  
主催：市バレーボール連盟(小野政樹会長)  
会場：西部総合公園体育館  
参加チーム：17チーム

優勝：グルービー  
準優勝：JBクラブ  
第3位：ウイングス・SOYA

## 本年度新規採用職員を紹介します



地域創生課の吉田莉穂です。移住・定住に関することや、地域間交流事業を担当しています。イベント等で市内外の方と関わる機会が多いため、常陸大宮市の魅力を知ってもらうとともに、興味を持って頂けるよう尽力してまいります。



山方支所の加倉井公人です。住民票・戸籍関連の窓口や狂犬病予防注射・クリーン作戦等を担当しています。支所で扱う業務は幅が広く難しい部分もありますが、ひとつひとつのものにし、地元常陸大宮市と市民の皆さんの役に立てればと思います。



美和支所の鈴木大晴です。主業務は税や戸籍関係の証明書等の交付などです。私は本市に長く住んでいるので、地元の振興事業に係る仕事ができることに喜びを感じています。まだまだ仕事や美和地域について分からないことが多いですが、市民の皆さんのお役に立てるよう頑張ります。

## 食改レシピ Vol.12

平成30年度ヘルシーメニューコンクールの主菜部門で優秀賞を獲得したレシピです。

### レンジで簡単 たらのトマトアクアパッツァ

#### 《材料》1人分

生たら	70g
塩	0.2g
こしょう	0.02g(少々)
あさり殻付き	30g(4個)
トマト	50g(1/4個)
オリーブの実	3g(1個)
ブロッコリー	20g(2房)
しめじ	15g
ミニトマト	15g
カッテージチーズ	3g
白ワイン	7.5g
オレガノ	0.5g
パルメザンチーズ	0.5g
オリーブ油	1g
イタリアンパセリ	2～3枚



栄養価【1人分】  
エネルギー 120kcal  
食塩相当量 1.0g  
野菜の量 100g

#### 《作り方》

- ①あさは事前に砂抜きをしておく。
- ②生たらは、水分を拭き取り、塩・こしょうをふる。
- ③トマトは角切り、オリーブの実は半分、ブロッコリーは1房ずつに切る。しめじは、石づきを取った後ほぐす。
- ④シリコンスチーマーにあさり、しめじ、③のトマトの半量、オリーブの実、白ワインを入れ、500Wの電子レンジで3分加熱する。
- ⑤その上に、たら、ブロッコリー、カッテージチーズ、ミニトマト、③のトマトの残り半分、オレガノをのせ、再度500Wの電子レンジで5分加熱する。
- ⑥お皿に盛り付け、パルメザンチーズを振り、オリーブオイルをまわしかけ、イタリアンパセリを飾る。

1人分	エネルギー	食塩相当量
栄養成分	120Kcal	1.0g

## ひたまる先生と学んでみませんか？

ひたまる先生から学んでみたい人（団体）は、市民協働課、各支所、公民館などに設置している「ひたまる先生名簿」や市のホームページから講座を選び、先生と直接交渉してください。

料金は、各先生によって金額は異なりますが、個人、団体とも1講座1回につき上限5,000円（交通費込み）です。助手を伴う場合は、1講座1回1人あたり1,000円（交通費込み）です。

なお、材料費・施設使用料は、受講者の負担になります。



### すぐ対応課 平成30年度の処理件数

内 容	処理件数
市道補修	528件
蜂の巣駆除	182件
市道上の動物死体処理	88件
その他※	216件
合 計	1,014件

※その他は、学校や運動広場などへの砂運搬等です。

# 地域おこし協力隊 がゆく



▲畑作業の様子



▲徳永隊員

地域おこし協力隊の徳永です。

「夢はなんですか?」、「目標はありますか?」、今は答えられません。正確には、夢や目標は一言では言い表せないし、日に日に更新されていくものだからです。昨日やりたかったことも、明日にはやりたくなくなるかもしれないし、今やりたくないことが、一週間後にはやりたくなくなるかもしれません。幼稚園や小学校、中学、高校、大学、それぞれで思い描いていた夢、それは今見る夢とは全然違います。だからこそ、1年後のことは想像がつかなくて、今を大切に生きていたいと思っています。

この街に来て3ヶ月、やりたかったことが少しずつ叶っています。子猫を保護して飼い始めたし、畑も始めました。そして、これからも色々な新しいことに挑戦したいです。都会に住む若者や地域住民が気軽に集まれるように、古民家を改修してサロンを開きたいし、自家栽培の野菜や地域の作物を使ったドリンクやスイーツを作るとか、写真集も出してみたいし、イベントのデザインもしてみたいです。地域の未活用資源や、古い街並みをもっと活かしたいとも考えています。やりたいことは他にもたくさんあります。多くの人の協力のおかげで、今は諸沢4区で野菜を育てています。今後はその畑を中心にイベントを行いつつ、コンテンツを増やしていきたいです。

## 環境インフォメーション

### 《注意》

### オオキンケイギク(大金鶏菊)について

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づき特定外来生物に指定されている、オオキンケイギクが市内で発見されています。オオキンケイギクは繁殖力が強いいため、栽培・運搬・販売・譲渡・野外に放つことなどが禁止されていて、一般の家庭や畑に生えている場合は除草が必要です。

＜オオキンケイギクの特徴＞

- ・短年生草本
- ・花期5月～7月ごろ
- ・高さ30～70cm
- ・直径5～7cmのオレンジがかった黄色の花をつける

#### ■問い合わせ■

生活環境課 生活環境グループ ☎52-1111(内線123)

地域創生部各支所 山方☎57-2121 美和☎58-2111

緒川☎56-2111 御前山☎55-2111

#### 処理するときの注意

オオキンケイギクが庭などに生えているのを見かけたら駆除をしましょう。駆除にあたっては、生きたまま移動させたり、保管するなどの行為が禁止されています。

処理する際には、根から引き抜いたものをビニール袋等に入れて厳重に密閉し、2～3日天日にさらして枯死させる等した後で、可燃ごみとして処分してください。



▲オオキンケイギク

## 軍隊と地域の関わり ～徴兵制を例にして～

皆さんは、軍隊を身近に感じられたことはあるでしょうか。

現在の常陸大宮市の範囲には、明治維新以後の近代に軍隊の基地が置かれたことはありませんが、近代の日本ではほとんど全ての人が軍隊との関わりを持つ事は避けられませんでした。そしてその関わりとして代表的なものが徴兵制です。

原則として全ての男子は20歳になった時に必ず徴兵検査を受けなければなりません。この対象になる人をまとめた壮丁名簿というものが、毎年各市町村の役場で作成され、それを元に検査が行われました。

では、実際には毎年どれくらいの人が軍隊へ入っていたのでしょうか。時期や状況により大きく異なりますが、例えば大きな戦争が無い時期の大正13(1924)年に旧大宮町では、徴兵検査を受けたのは20人、このうち実際に陸軍へ入ったのは3人だったと報告されています(「自大正十三年至大正十五年 大宮町事蹟簿」(大宮町役場文書211、常陸大宮市文書館所蔵))。この数は思ったより少ないと驚かれるかもしれません。

しかし、昭和12(1937)年に日中戦争が始まり、総力戦としての戦争が深まっていくと次第に徴兵検査を受けた者は、ほぼ軍隊へ入ることになるという状況になっていきます。

男性を軍隊に取られるとその家庭は生活に大きな影響が出ます。市町村役場では、徴兵する人員の家庭環境や経済状況まで調査しており、経済的に貧しく「生計困難ナリ」と把握している家庭からも、徴兵を実施している様子が史料から読み取れます(「現役兵身上調査表」(八里村役場文書411、常陸大宮市文書館所蔵))。



近現代史部会協力員 有蘭 舟仁 氏  
(一橋大学大学院生)

しかし、この調査は経済的な支援などに生かされたわけではなく、また徴兵を受けた家庭の生活支援も十分ではありませんでした。

常陸大宮市には、旧八里村を中心として徴兵の業務に使用された史料が残されています。人々がどのように戦争や軍隊との関わりを持ち、受け止めていたのか、史料や証言など、市民の皆さんの貴重な協力を得ながら、今後も調査を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。



▲「徴兵業務に関する史料(常陸大宮市文書館蔵)」

### ■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52-1111(内線344)

# 虫垂炎ってなあに？

健康  
通信

常陸大宮済生会病院 外科消化器科医員 増子 駿

皆さんは「盲腸」を知っていますか？外来などで手術歴を聞くと「盲腸をやったことがある」とおっしゃる方がいますが、医学的には虫垂の炎症のことを指します。

虫垂は盲腸という大腸から出ている突起物でその名の通り虫のように垂れていることから名づけられました。虫垂は右下に位置し長さは人それぞれです。

## 【虫垂炎の原因】

原因としては現在はっきりとはしていません。しかし、糞石（便の塊）が虫垂にはまったり虫垂がねじれたりして閉塞することで細菌が繁殖し、感染することが原因と考えられています。

## 【虫垂炎の症状】

症状としては腹痛、嘔吐、下痢、発熱など様々な症状があり症状全て出るかは人それぞれです。腹痛では発症初期ではみぞおちの辺りが痛くなり、その後右下腹部に痛みが移動する特徴があります。

時間が経過すると虫垂の炎症が腹膜（お腹を覆う膜）に拡がり腹膜炎に至ることもあります。腹膜炎に至ると手でお腹を押した時よりも離れた時の方が痛んだり、お腹全体が硬くなったりします。

## 【虫垂炎の治療】

治療は抗生物質の点滴や内服による保存的治療と手術による治療の2種類があります。

基本的には抗生物質による治療で良くなりますが、炎症が悪くなったり具合が悪い場合が手術を行う場合があります。

手術ですが、一昔前は右下腹部を5cm程度切る開腹手術が主流でしたが、現在はおへそに小さな傷をつけて行う腹腔鏡が主流になってきています。当院でも積極的に腹腔鏡手術を取り入れています。

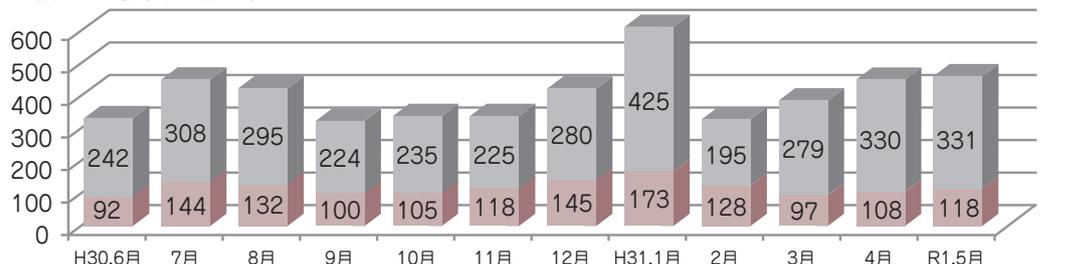
虫垂炎は幼児から高齢者まで幅広い年齢層に起きる病気のため、美容的に気にする方には腹腔鏡手術を勧めています。

しかし、炎症がひどく腹腔鏡だけでは安全に手術ができない場合は、開腹に移行する可能性もありますのでご了承ください。

また、当院では抗生物質の点滴で炎症を押さえて約3ヶ月後に腹腔鏡手術を行い、虫垂を切除する待機的手術も行なっています。一旦炎症が落ち着いても再発する可能性もありますので、予防目的に手術をすることも可能です。特に、中高年層以上で虫垂炎になられた方で稀に「虫垂がん」が隠れていることがありますので、炎症が良くなった後も大腸カメラをすることをお勧めします。お腹の右下あたりが痛いなどの症状がありましたら、お気軽にご相談ください。

※救急受け入れの人数を月別に表しています。（休日・時間外を含む）

常陸大宮済生会病院救急患者受入状況



## 合併の経緯 — 伊勢畑村 —

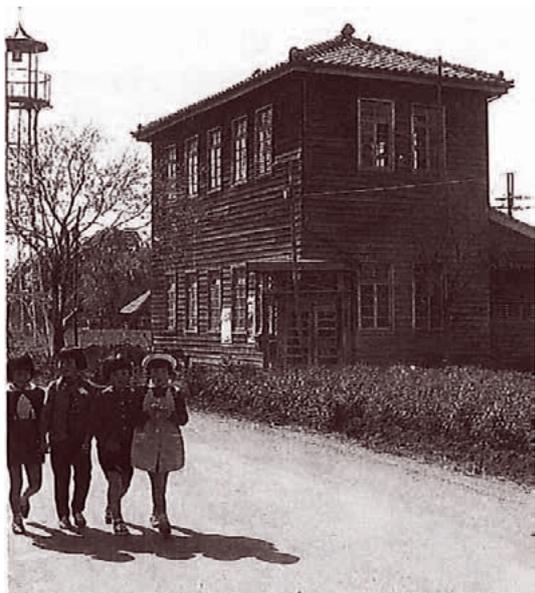
## ◇明治の合併と伊勢畑村

伊勢畑地区は常陸大宮市の南西に位置し、那珂川の右岸となる地域です。那珂川の支流である相川と楡山川が流れ、それに沿って城里町方面と茂木方面へ至る街道が通っています。字岩戸には、日立などの沿岸地域の海産物を下野方面に運ぶ「塩の道」の名残りを伝える石造馬頭観音像があり（当初は境松峠、現在地に移動）、東西を結ぶ重要な街道だったことがわかります。

那珂川流域の南側となるこの地域は、江戸時代には上伊勢畑村、下伊勢畑村、楡山村の3か村に分かれていました。この旧3か村はそのまま現在の大字となっています。

3か村は、大区小区制ではすべて第5大区1小区（明治8年）に含まれ、大区小区制廃止後の連合村制度の下では下伊勢畑村外二か村連合に（明治11年）、改正後は下阿野沢村外九か村連合に（明治17年）組み入れられました。改正後の九か村連合では、阿波山村や赤沢村など那珂川右岸、現在の城里町地域の村々と連合していたことがわかります。

その後、明治22年（1889）4月に施行された市制・町村制で上伊勢畑・下伊勢畑・楡山の3か村が合併し伊勢畑村となり、初代村長には蓮田竹彦が就任しました。



▲旧伊勢畑支所（『広報ごぜんやま』）

役場は下伊勢畑字川畑<sup>かばた</sup>1889-1、1892-2番地に置かれました。昭和30年の合併後も伊勢畑支所としてしばらく使用されました。



▲伊勢畑村役場跡の現況

## ◇昭和の合併

昭和28年（1953）9月には、町村合併促進法が公布され、人口8000人を適正規模の目安とする村の具体像が示されるとともに、県からは合併案が提示されました。

これにより、伊勢畑村は、東に隣接する野口村と合併協議を重ね、昭和29年6月に合併促進協議会が設けられました。8月以降集落（部落）ごとに懇談会が行われ、集落としての意見がとりまとめられました。住民の議論の的となったのは、東茨城郡への所属、学校、本庁位置、渡船場など生活に直結するものでした。伊勢畑村民は、役場を伊勢畑に設置することなど、従前どおりの行政運営を訴えましたが、協議会は紛糾することなく結論に至ったようです。翌年2月には2か村が合併し、御前山村が発足しました。最終的に、東茨城郡に属することになり、役場位置は野口となりました（現在の野口地区センターの位置）。

この後、昭和31年9月に長倉村が合併し、新たな御前山村が誕生しました（『文書館だより』vol.27,28をご参照ください）。



▲伊勢畑村役場文書

青木猛さん、蓮田信夫さんに聞き取り調査にご協力をいただきました。

【参考文献】塙泉嶺『那珂郡郷土史』宗教新聞社 大正12年、茨城県総務部地方課編『茨城県市町村合併史』昭和33年、『御前山村郷土誌』平成2年、『広報ごぜんやま 復刻版1』御前山村 平成11年

■問い合わせ■ 文書館 ☎52-0571



## 常総市へ出動し活動しました

5月15日に常総市で発生したリサイクル施設火災で、県消防広域相互応援協定の出動要請により、5月18日（第3陣）と20日（第5陣）に、当消防本部の消防隊が常総市で消化活動を行いました。

常陸大宮東ポンプ1、常陸大宮東広報2の車両2台、職員5人編成、24時間体制で活動を実施しました。12日後、無事に鎮火しました。



▲常総市に向け、出発式を行いました



▲協力して消火活動を行う消防隊

## 救急医学と健康講座を開講しました

6月1日に救急医学と健康講座を開講しました。この講座は、市内の小学生（5～6年生）と中学生を対象に、人間の体の解剖や疾患について現役の救急救命士や医師、看護師から学びます。

また、病院見学やメディカルラリーといったイベントもあり、医療従事者に興味を持つきっかけになることを目的に開催しています。今年度は44人の小中学生が受講しています。



▲講座の様子



▲みんなで協力して課題を進めます



■問い合わせ■ 消防本部 ☎54-0119

## 第48回消防救助技術関東地区指導会

### 引揚救助チーム 関東地区指導会に出場

7月5日、長野県消防学校で開催された第48回消防救助技術関東地区指導会に、当本部の引揚救助チームが出場しました。残念ながら全国大会へ進出はできませんでしたが、各都県大会で勝ち上がってきた1都9県（東京都、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、神奈川県、静岡県、山梨県、長野県）の精鋭たちが全国大会進出に向けて一堂に会した今大会で、精一杯自分たちの力を出し切りました。



▲（左から）鈴木 敬士隊員、梶 徳隊員、菊池 紳吾隊員、小林 卓也隊員、黒澤 拓也隊員



▲初出場で所要タイム1分27秒を（標準所要タイム2分30秒）記録

## 第46回茨城県消防救助技術大会

### ほふく救出A・Bチーム 第1ブロック個人種目等選考会に出場

7月2日、日立市消防本部で開催された第46回茨城県消防救助技術大会の第1ブロック個人種目等選考会に、ほふく救出Aチーム、ほふく救出Bチームが出場しました。昨年に引き続いての全国大会へ進出とはいかなかったものの、各チームの特色を活かした選考会となりました。



▲所要タイム52秒を（標準所要タイム1分10秒）記録したAチーム



▲所要タイム47秒・減点なしを（標準所要タイム1分10秒）記録したBチーム



## 御前山ビオトープ周辺の植物等

山野や丘陵地に生える多年草です。茎につく葉は互い違いにつき、上部の葉はしだいに柄が短くなります。花は淡紅色から白色まで変化が多く、内側には濃い斑点があります。名前は下向きに咲く花を、火を灯して垂れ下げる提灯に見立てて、火垂（ホタル）とし、さらに花の形からブクロがついたとする説と、子供がホタルを花の中に入れて遊んだとする説があります。

### ホタルブクロ



(キキョウ科 ホタルブクロ)  
(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

## 市制施行15周年

## 合併からの15年を振り返って

本市は、今年10月16日で市制施行15周年を迎えます。この15年間の主な出来事を振り返ります。

### 市章（平成17年3月制定）

常陸大宮市の頭文字「ひ」を川の流れにたとえ、人々のふれあい、人と物、産業、文化などの交流を通じて、街が大きく発展していく様子を表しています。外側の円は英文字の「O」、5本の線は旧町村を示しそれらがひとつにまとまり、新しい市として歩み始める団結を表現しています。緑色は豊かな山々を、青色は恵みをもたらす久慈川、那珂川、緒川を表しました。応募総数934点の中から選ばれました。



### 人面付壺形土器を発見（平成18年1月）

鈴木素行氏による学術調査の結果、泉坂下遺跡（泉地区）から約2,300年前（弥生時代）に作られた人面付壺形土器が発見されました。この人面付壺形土器は、高さ77.7cmの愛称いずみ。平成29年度には、泉坂下遺跡が国指定史跡、泉坂下遺跡出土遺物が国重要文化財として同年度内に指定を受けました。発掘された土地が国指定史跡に、出土品が国重要文化財となったことは、数少ない事例となりました。



▲学術調査の様子



▲いずみ

## 市制施行15周年記念ロゴマークを制定

市の花であるバラをモチーフとし、これからの未来に向かい「オール常陸大宮」で心をひとつに一丸となって進むことを丸型で表現したデザインです。

金色：市が持つ資源（人・モノ・コト）の豊かさを表現  
水色：市が持つ爽快感・解放感を表現



紺色：市が持つ落ち着きと安心感を表現  
緑色：市が持つ自然とリラックス感を表現

## いきいき茨城ゆめ国体なぎなた競技会

2019年9月29日（日）～  
10月1日（火）  
西部総合公園体育館



### 常陸大宮市の人口

(7月1日現在・推定常住者)

総人口 40,054人 世帯数 16,082世帯  
(男 19,763人 女 20,291人)

## 広報 常陸大宮 7月 第178号

発行日 令和元年7月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/

